

# 地震発生

平成23年の東日本大震災では、死者・行方不明者のほとんどが津波の犠牲によるものでしたが、南海トラフ巨大地震では、震度6弱以上の「歩くことが出来ない」ほどの強い揺れに襲われることが想定されています。平成7年の阪神・淡路大震災では、建物の倒壊、家具の転倒などに伴う、窒息・圧死により多くの方が犠牲になりました。

正しい知識と適切な行動により地震から身を守りましょう。

## 強い揺れからの安全確保

### 行動1 身を守る

#### 1 家具の転倒、照明器具の落下への備え

固定されていないタンスや食器棚などの家具、冷蔵庫やテレビ、照明器具などの家電は凶器となってあなたに襲いかかります。机の下など安全な場所に隠れましょう。

#### 2 出入口の確保

地震によりドアや窓が開かなくなることがあります。火災や揺れが収まった後の避難のため、ドアや窓を開け、出入口を確保しましょう。

#### 3 すみやかな火の始末

火災防止のため、ガスコンロや給湯器、暖房器具は速やかに消しましょう。また、避難する際にはガスの元栓やブレーカーを切りましょう。

### 注意1

#### 1 あわてて外に飛び出さない

瓦やガラス、看板が落下してくる可能性があります。

#### 2 本震の後に余震発生

本震と同規模の余震が発生することもあります。建物や塀には近づかないようにしましょう。

### 一口メモ

- 車を運転中に地震が発生した場合は、路肩にゆっくり停車させ、安全を確保しましょう。
- エレベーター利用中に地震が発生した場合は、全ての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りましょう。



平成7年阪神・淡路大震災による家屋の倒壊  
写真提供：西宮市震災写真情報館

### 行動2 情報収集・救出救護

#### 1 同報無線、テレビなどから情報収集

震源はどこか？津波警報は発令されていないか？  
同報無線、テレビ、ラジオ、携帯電話などから避難の必要性を一秒でも早く確認しましょう。  
なお、地震の揺れが数分間にわたって続く場合には、津波を伴う海溝型地震である可能性が高いため、沿岸部にお住まいのみなさんは、情報が得られない場合でも避難を始めましょう。

### 津波が発生しない場合や、津波の危険がない地域のみなさん

#### 2 救出・救護活動

消防署などによる救出活動には時間を要することもあります。周りの人と協力し、救出・救護活動を行いましょう。

- 1 周辺の火災 周辺で火災が発生した場合は、周りの人と協力して初期消火にあたり、延焼防止に努めましょう。
- 2 家族の安全 家族や近所に声をかけて安否を確認しましょう。また落下物や建物の倒壊により、下敷きになった人がいたら、自身の安全を確保しながら救出活動をしましょう。

➡津波の危険がある場合には次の「津波から身を守るために」を参照して下さい。

### 注意2

#### 津波警報

気象庁は、津波の発生が予想される場合、地震発生後3分を目標に、津波警報（大津波・津波）または津波注意報を発表します。津波到達予想時刻、予想される津波の高さなどが発表されるため、同報無線、テレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。



### 地震想定

平成25年6月に静岡県が公表した第4次地震被害想定では、駿河湾から九州にかけての南海トラフ沿いで起こる最大マグニチュード9クラスの巨大地震の発生により、沼津市においては最大震度6強と想定されています。